



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月27日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井上 伸宏 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	286,840	19.0	65,087	35.7	84,007	74.2	64,715	86.7
26年12月期第3四半期	241,012	20.8	47,969	54.5	48,215	37.4	34,670	35.9

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 36,732百万円(△8.7%) 26年12月期第3四半期 40,245百万円(△0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	698.09	—
26年12月期第3四半期	373.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	415,653	356,240	85.5
26年12月期	396,967	331,195	83.2

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 355,257百万円 26年12月期 330,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	52.50	—	52.50	105.00
27年12月期	—	77.50	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	77.50	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	368,000	10.5	80,500	22.3	99,500	40.1	76,000	48.3	819.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年12月期3Q	92,720,000株	26年12月期	92,720,000株
27年12月期3Q	16,106株	26年12月期	15,462株
27年12月期3Q	92,704,154株	26年12月期3Q	92,705,148株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、欧州ではユーロ安を背景に域内製造業の輸出が増加し、緩やかな景気回復の気配が見られました。しかしながら、期末にかけては中国の景気失速に加え新興国の需要下振れもあり、欧州経済の先行きに影を落とすこととなりました。米国では、労働市場の改善が着実に進む中、個人消費は底堅く推移し、企業業績も拡大しました。

国内におきましては、為替相場の円安推移に後押しされ、企業の景況感は改善の方向で推移しましたが、中国および新興国経済の減速が輸出・生産を下押しするなど景気回復の動きに一服感が見え始めました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は286,840百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益は65,087百万円（前年同期比35.7%増）、経常利益は84,007百万円（前年同期比74.2%増）、四半期純利益は64,715百万円（前年同期比86.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

欧州、北米市場ともに天候による需要への大きな影響はなく推移しました。欧州については好天気に恵まれて非常に好調であった昨年に比べ販売台数は劣るものの、E-Bikeを中心とした高価格帯モデルの好調な販売を軸に店頭販売は順調に推移しております。欧州・北米ともに市場在庫はほぼ適正レベルを維持しております。

日本においては、スポーツタイプ自転車の店頭販売は堅調を維持しているものの、軽快車については店頭販売が円安による値上げの影響を大きく受けて低調のまま、市場在庫は依然としてやや高いレベルに留まっております。

中国については、景気の鈍化を受けてスポーツタイプ自転車の店頭販売は昨年を下回っており、市場在庫もやや高いレベルで推移しております。一方で他の有力新興国市場である東南アジアと南米におけるスポーツタイプ自転車は比較的堅調な伸びを継続しております。

このような市況のもと上半期に投入したマウンテンバイクコンポーネントの「DEORE XT」、「ACERA」、ロードバイクコンポーネントの「Tiagra」のフルモデルチェンジが好評で、当期も引き続き多くの注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は237,738百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益は61,233百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

② 釣具

国内市場は、台風の影響を多少受けた時期もありましたが、全体的にみるとお盆を中心に天候が比較的安定して市場動向が良かったこともあり、売上は前年同期を上回る結果となりました。

一方、海外市場では、新製品評価がメイン市場で特に高いことや、比較的安定した天候の好影響もあり、売上は堅調に推移して前年同期を上回る結果となりました。

この結果、当セグメントの売上高は48,811百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は3,973百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は290百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失は119百万円（前年同期は営業損失82百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は415,653百万円（前連結会計年度比18,685百万円の増加）となりました。これは、現金及び預金が17,728百万円、建設仮勘定が3,121百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は59,413百万円（前連結会計年度比6,359百万円の減少）となりました。これは、買掛金が4,590百万円、短期借入金が2,941百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は356,240百万円（前連結会計年度比25,045百万円の増加）となりました。これは、利益剰余金が53,043百万円増加し、為替換算調整勘定が28,335百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、欧州では原油安やユーロ安等の好材料があるものの、未収束のギリシャ債務問題、中東情勢に伴う難民流入の急増など、不安要因を依然として抱えている状況です。米国は雇用・所得環境の改善を背景に内需主導の景気拡大が続くことが予想されます。

国内では、円安傾向の定着、個人消費マインドの改善等により景気は回復基調が続くことが期待されるものの、中国および新興国経済の減速が重石となり、そのペースは緩慢と思われまます。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成27年7月28日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、売上高368,000百万円、営業利益80,500百万円、経常利益99,500百万円、当期純利益76,000百万円とさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、Shimano New Zealand Ltd. はDouglas Johnson & Co Limitedから社名を変更しております。

第2四半期連結会計期間において、Shimano Uruguay S.A. については新規設立により連結の範囲に含めております。また、Shimano (Malaysia) Sdn. Bhd. については清算により連結の範囲から除外しております。

当第3四半期連結会計期間において、Shimano Oceania Ltd. については清算により連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(「退職給付に関する会計基準」等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用につきましては、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が592百万円減少し、利益剰余金が379百万円増加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	157,841	175,570
受取手形及び売掛金	37,272	34,670
商品及び製品	40,150	37,851
仕掛品	22,375	20,857
原材料及び貯蔵品	5,647	6,271
繰延税金資産	3,214	3,259
その他	5,069	7,979
貸倒引当金	△184	△281
流動資産合計	271,386	286,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,692	40,988
機械装置及び運搬具（純額）	18,994	21,144
土地	13,137	13,340
リース資産（純額）	51	61
建設仮勘定	14,172	17,294
その他（純額）	6,386	5,951
有形固定資産合計	94,434	98,781
無形固定資産		
のれん	2,963	2,642
ソフトウェア	2,849	4,915
その他	7,203	5,449
無形固定資産合計	13,016	13,007
投資その他の資産		
投資有価証券	13,485	13,576
繰延税金資産	1,303	1,074
その他	3,833	3,509
貸倒引当金	△492	△474
投資その他の資産合計	18,129	17,686
固定資産合計	125,580	129,474
資産合計	396,967	415,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,545	11,954
短期借入金	9,796	6,855
未払法人税等	10,995	10,735
繰延税金負債	292	332
賞与引当金	1,986	2,950
役員賞与引当金	207	166
工場建替関連費用引当金	44	—
その他	17,876	19,091
流動負債合計	57,745	52,085
固定負債		
長期借入金	2,670	2,220
繰延税金負債	1,308	1,423
退職給付に係る負債	3,287	2,921
その他	761	762
固定負債合計	8,027	7,327
負債合計	65,772	59,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,823	5,823
利益剰余金	246,726	299,769
自己株式	△71	△82
株主資本合計	288,092	341,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,307	3,605
為替換算調整勘定	38,863	10,528
その他の包括利益累計額合計	42,171	14,133
少数株主持分	931	982
純資産合計	331,195	356,240
負債純資産合計	396,967	415,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	241,012	286,840
売上原価	146,727	169,379
売上総利益	94,284	117,461
販売費及び一般管理費	46,315	52,373
営業利益	47,969	65,087
営業外収益		
受取利息	721	903
受取配当金	705	252
為替差益	—	18,040
その他	585	285
営業外収益合計	2,012	19,482
営業外費用		
支払利息	247	244
為替差損	837	—
その他	681	318
営業外費用合計	1,766	562
経常利益	48,215	84,007
特別損失		
工場建替関連費用	804	296
特別損失合計	804	296
税金等調整前四半期純利益	47,410	83,710
法人税、住民税及び事業税	12,888	18,489
法人税等調整額	△177	401
法人税等合計	12,710	18,891
少数株主損益調整前四半期純利益	34,699	64,819
少数株主利益	28	104
四半期純利益	34,670	64,715

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	34,699	64,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	298
為替換算調整勘定	5,574	△28,385
その他の包括利益合計	5,546	△28,086
四半期包括利益	40,245	36,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,196	36,677
少数株主に係る四半期包括利益	49	54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	196,437	44,287	287	241,012	—	241,012
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	196,437	44,287	287	241,012	—	241,012
セグメント利益又は損失(△)	44,707	3,344	△82	47,969	—	47,969

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	237,738	48,811	290	286,840	—	286,840
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	237,738	48,811	290	286,840	—	286,840
セグメント利益又は損失(△)	61,233	3,973	△119	65,087	—	65,087

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。